

ウエストバージニア州は堅実な 財政運営を維持しながら、 力強い多様な経済を武器に 新しく、ダイナミックな経済成長の 時代に突入しました。

州の責任ある政府を目指す取り組みにより良好なビジネス環境が生まれ、減税、労災補償改革、大学における研究への投資、その他の戦略的経済開発イニシアチブを通して、ビジネス成長への道が広がっています。

2005年以来、200億ドルを上回る値の新規事業投資が州の経済になされ、このうち62億ドル以上が2010年以降のトムリン知事の政権下で行われています。

ウエストバージニア州は石炭、化学・ポリマー、航空宇宙、自動車、木材製品などの伝統的なエネルギー産業や製造業で繁栄してきましたが、こうした産業は今も州経済に重要な貢献をしています。そして現在のウエストバージニア州経済の推進力になっているのが、高度な技能を有する労働力に導かれる革新的技術ベースの企業です。新興分野としてはバイオメトリクス・バイオサイエンス、先進エネルギー、流通、ビジネス情報サービスなどがあります。

ウエストバージニア州の優位性や利点を見出した企業には、アマゾン・ドット・コム、アルコン・リサーチ、アームストロング・ワールド・インダストリーズ、バイエル、コールドウォーター・クリーク、デュポン、ゲスタンプ、日野自動車、ロッキードマーチン、メイシーズ、プラット・アンド・ホイットニー、トヨタなどのグローバル企業や主要ブランドがあります。

Point 1 ビジネスにおける優位性

■熱心で誠実な仕事ぶり、そして欠勤率の低さで知られる熟練かつ適応力のある労働力。

■製造業従事者の離職率の低さ。

■全米平均より14%低い事業コスト。第三者格付け会社ムーディーズによれば、ウエストバージニア州は全米で4番目の低さ。

■公共料金は全米で最も安い州に属する。

■米国の総人口の半分以上、およびカナダ市場の三分の一以上に車で8時間以内にアクセスできる場所に位置。

■ビジネスや労働力のニーズに対応したコミュニティカレッジおよびテクニカルカレッジのシステム。

■輸出成長率において全米のトップを走る州で、90億ドル台の記録を達成。

■質の高い生活、安い生活費、他にはみられないアウトドアレクリエーションの充実。

Point 2 成長戦略のための税制改革

■事業免許税が段階的に軽減され、2015年には撤廃されます。最初の引き下げが始まってから今後撤廃されるまでに、推定5000万ドルの節税がされることとなります。

■税の引き上げを行う州があるなか、ウエストバージニア州は減税を推進しています。2012年に税の削減を行った州はウエストバージニアだけです。

■法人純所得税率は2014年までに6.5%まで引き下げられます。この税率削減が完全に実施されると、法人の節税は年5300万ドル以上になることが見込まれます。

■ウエストバージニア州は企業の税負担を2012年度に約1億2600万ドル、過去6年間で4億5000万ドル削減しました。

Point 3 力強い財政実績

■ウエストバージニア州は2012年度末に約9000万ドルの黒字を計上しました。黒字計上は7年連続で、その間増税も行いませんでした。失業手当給付金支払いのための連邦基金の借入をする必要のなかった州はわずか18州で、ウエストバージニアもその中に入っています。

■ウエストバージニアの州総生産4.5%増は2011年の米国の州経済生産成長率の3番目に高い数値で、実質GDPは558億ドルです。

■ウエストバージニア州はもっとも健全な困窮時用積立金を有する州のひとつです。9億1200万ドルを超える歳入欠陥積立金は一般歳入予算の20%に相当します。これは全米で4番目に良好な困窮時積立金です。

■第三者格付け会社フィッチ・レーティングスは州の一般財源債務の格付けを「AA」から「AA+」に引き上げました。これは可能な格付けでは2番目に高いものです。フィッチは「積立金拡大や長期債務削減の継続的努力も含め、州の一貫した良好な財政運営」と述べています。

■全体的な労災補償料率は2006年のシステム民営化以来大幅に下がりました。純保険料率の引き下げは改革前のレベルに比べ、累積で60.9%の減少にあたります。

Point 4 労働力と研修

現在のグローバル経済で競争力を維持するため、ウエストバージニア州は高い技術を有し、かつ適応力のある労働者の育成に投資しています。知事保証労働力プログラムは新規および拡大企業に対し、従業員の研修・再研修、および技術向上のための技術的・資金的援助を提供しています。2012年度にはウエストバージニア州産業開発局を通して提供された知事保証労働プログラムにより、9000人を超える労働者が研修の機会に恵まれました。

ワークフォース・ウエストバージニア局は労働力開発サービスのネットワークで、ウエストバージニア州の雇用主が今日のグローバル経済の激しい競争に打ち勝つために、適切な教育研修を利用できる機会を提供しています。

Point 5 エネルギー事情

エネルギーはウエストバージニア経済の伝統的な強みのひとつです。州は全米でも有数の先進エネルギー研究で知られ、石炭、天然ガス、バイオマス、水素、水力、風力、ソーラー発電を含む多様なエネルギーをそろえています。ウエストバージニア州は世界でも最大級の石炭、天然ガス埋蔵資源を多く有しています。

ウエストバージニア州はこれまでずっと米国の主要な電力の生産地域となっており、州で作り出された電力の三分の二は他州に送られています。州間電力純売上額では全米3位で、電気料金の安さでは全米トップを維持しています。

州の「エネルギー計画」では、あらゆる形態の実現可能なエネルギー技術を環境にやさしい方法で開発することを提唱しています。新たな市場機会により、主要なエネルギー関連企業が州に投資を始めており、その中にはドミニオン、アンテロ・リソーシズ、マークウェスト・エナジー・パートナーズL.P.、ウィリアムズ・パートナーズL.P.があります。

Point 6 大きな経済的效果 —マーセラスおよびユーティカシェール—

フレイザー・インスティテュートが公表した世界石油調査では、ウエストバージニア州は石油ガス開発には最も魅力的な地域として世界のトップ10に入っています。

アパラチア地域にあるマーセラスとユーティカシェール層に莫大なガス埋蔵量が発見されたことにより、ウエストバージニア州の存在がさらに重要性を帯びてきました。州全体の石油ガス業界の雇用は2008年に比べほぼ10%増加し、平均賃金も約19%上昇しています。

ウエストバージニア州の経済はマーセラスとユーティカシェール田で大きな恩恵を受けることになります。天然ガスの一部から得られる副産物のエタンは、プラスチックの重要な原料となります。天然ガスと関連副産物が低コストで生産されることにより、州の化学産業の拡大も見込まれています。